

WHAT WE TEST.

ビジネスの場で「なんとなく通じにくい」と感じる原因は、実はごく一部の音に集約されていることがほとんどです。

Simple English JPの発音診断では、英語の音を**33のカテゴリー**に分けてチェックします。ここでは、実際の診断で対象となる33の音を、ひとつずつ紹介します。

診断がカバーする33音の内訳

子音22音+子音クラスター4種類+母音7種類 = 合計33音。英語の「通じる／通じない」を左右する音を、ほぼ網羅しています。

CONSONANTS

22 単独子音

B /b/ boat	CH /tʃ/ cheese	D /d/ dog	F /f/ fly
G /g/ go	H /h/ hat	J /dʒ/ June	K /k/ car
L /l/ love	M /m/ man	N /n/ now	NG /ŋ/ singer
P /p/ pea	R /r/ red	S /s/ see	SH /ʃ/ shall
T /t/ tea	TH /θ, ð/ think/this	V /v/ video	W /w/ wet
Y /j/ yes	Z /z/ zoo		

CLUSTERS

4 子音クラスター

L-Blends①

/bl, pl, sl/

L-Blends②

/kl, gl, fl/

S-Blends①

/sm, sn, sw/

S-Blends②

/sp, st, sk/

VOWELS

7 母音

Aa

/eɪ, æ/
pay/cat

Ee

/iː, ɛ/
see/end

Ii

/aɪ, ɪ/
pie/dig

Oo

/ou, ʊ/
cone/cop

Uu

/uː, ʌ/
zoom/run

Au

/aʊ/
out

Oi

/ɔɪ/
boy

日本語話者がつまづきやすいポイント

L と R

日本語の「ラ行」は英語のL・Rどちらも異なる独自の音。聞き分け・言い分けの両方が難しいとされています。

TH という音そのものがない

think/thisのth音は、日本語の音の中に対応するものが存在しません。sやdで代用されがちです。

母音の「質」の違い

cat と cut、see と itのように、英語の母音は長さだけでなく音そのものが変わります。日本語にはこの違いがほとんどありません。

子音クラスター (bl, st, sp…)

日本語は子音が連続しにくい言語。play や stop のような連続は、無意識に音が増えたり抜けたりしやすい箇所です。

診断の流れ

STEP 1

1対1のライブセッション

実際のビジネスシーンを想定した英文を音読していたきながら、コーチがその場で確認します。

STEP 2

33音を、文脈の中でチェック

単語カードではなく、自然な文章の流れの中で33音それぞれ聞こえ方を確認します。

STEP 3

あなた専用の優先順位に変換

会議・プレゼン・電話・面接など、実際の使用シーンに応じて、直すべき音の優先度が変わります。

5-6

診断結果としてお渡しするもの — 「サウンドプロフィール」

33音すべての結果をもとに、今のあなたに最も影響の大きい上位5〜6音だけに絞ってお渡しします。全部を一度に直そうとしない — それが、最短で「伝わる発音」に近づく方法です。